

就職しない 生き方

古川健介

佐藤大吾

深水英一郎

家入一真

蟬丸P

登大遊

塩見直紀

堀江貴文

堀内議司男

西村博之

ネットで「好き」を
仕事にする
10人の方法

インプレスジャパン編集部

就職しない 生き方

古川健介

佐藤大吾

深水英一郎

家入一真

蟬丸P

登大遊

塩見直紀

堀江貴文

堀内議司男

西村博之

ネットで「好き」を
仕事にする
10人の方法

インプレスジャパン編集部

●本書の内容は、2010年2月の情報に基づいています。記載したURLやサービス内容などは、予告なく変更される場合があります。

●本文中の社名、製品名、サービス名は、一般に各社の商標または登録商標です。本文中にTMおよび

®マークは表示していません。

発刊によせて

日本の経済は、この先も衰退するばかりだといわれています。ほんとうかどうかわかりませんが、少なくとも、高度成長期のような時代ではないことは確かです。さすがに、新卒で就職して一生その会社で働こうと思ってる人は少数派だと思いますが、まだまだ「働く」＝会社に入ること、と信じてる人も多いと思います。

でも、会社や組織に雇われずに働く方法は、実は、いくらだってあるのです。

この本は、ついすっかり僕がメッセンジャーで言ってしまった「会社やるのって会社員よりずっといいよ」というひとことをきっかけに、起業したり、独立したりして「就職しない生き方」を選んだ10人の体験がまとめられています。

べつに就職するな、と言ってるわけではないのですが、会社員として働く以外にも、自分の仕事をする方法はいろいろあるんだ、と知ってもらえたらと思います。

「こうしておけば安心」という絶対安全な生き方があるかという点、今の世の中、ちょっとむずかしいと思います。だから、自分に合った働きかたを見つけれられるといいかなあ、と僕を含めて、この本に出てくる10人は、世間とはいろんな方向にズレてる感じなので、そのままマネはできなくても、何かの参考になるかもしれません。

この本が、人生の新たな選択肢のひとつを見つけるヒントになれば、うれしいです。

株式会社ロケットスタート代表取締役 古川健介

就職しない生き方 もくじ

Chapter1 マニュアル世代だから就職も起業もマニュアル通りやりました

学生社長からリクルート社員に転身後、ふたたび独立

株式会社ロケットスタート 代表取締役社長 古川 健介

7

Chapter2 今なら起業しないで「まぐまぐ」やったかも

「おもしろいこと」をやり続ける「まぐまぐ」開発者

株式会社未来検索フレンジー 代表取締役 深水 英一郎

25

Chapter3 坊さんは、なるよりも続けるのがむずかしいかと…

ニコニコ動画で仏教を説く現役住職

動画作者・住職 蟬丸 P

39

Chapter4

自分だけのコンセプトが見つければそれで食べていけるんです

半農半X(XエックスII天職)をコンセプトにUターン半農生活

半農半X研究所代表 塩見直紀

55

Chapter5

家元宅に住み込み修行の日々、ネットだけが世界への懸け橋だった

ネットで飛躍した脱サラ茶人

遠州流茶人 壺中庵・宗長 堀内議司男

71

Chapter6

要望にこたえるうちいつのまにか「社会起業家」と呼ばれていた

阪神大震災ボランティアとのネット交流が人生を変えた

NPO法人チャリティ・プラットフォーム代表理事 佐藤大吾

87

Chapter7

選ばれる側がいやなら、選ぶほうになればいいんです

元引きこもりのJASDAQ最年少上場IT社長

株式会社paperboy&co. 代表取締役COO 家入一真

105

Chapter8 ほんとに好きなことだけやってる人が集まれば大きなことができる

産学官連携事業の雄、天才プログラマーの称号を持つ

ソフトイーサ株式会社 代表取締役会長 登大遊

123

Chapter9 100億行かない会社なんて、いかにもハンパでしょ？

100億円を稼ぎ出した「想定外」の元IT社長

元ライブドア代表取締役社長 CEO 堀江貴文

145

Chapter10 もし失敗したら、いいネタにできるじゃないですか！

元巨大掲示板2ちゃんねる管理人

株式会社未来検索ラジル／株式会社ニワンゴ 取締役 西村博之

161

Appendix 就職はしたけれど、社長になってしまいました

巻末対談 古川健介×西村博之

198

Chapter
1

マニュアル世代だから 就職も起業も マニュアル通りやりました

株式会社ロケットスタート
代表取締役社長
古川健介

学生社長からリクルート社員に転身後、ふたたび独立

古川 健介

ふるかわ けんすけ



通称けんすう。1981年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。浪人生時代の2000年に受験生コミュニティであるミルカフェを立ち上げ、ピーク時月間1000万ページビューの大手サイトに成長させる。2004年、したらばJBBSを運営する株式会社メディアアクリップを立ち上げ、代表取締役社長に就任。2005年、株式会社ライブドアにしたらばJBBSを事業譲渡、代表取締役を辞任。2006年、株式会社リクルートに入社、事業開発室にて新規事業立ち上げを担当。2007年12月に株式会社ロケットスタートを立ち上げ、代表取締役就任。2009年6月リクルートを退職し、ロケットスタートに専念。

「副業」で作った会社を本業に

けんすうさんは、学生時代からインターネット掲示板の管理人としてネットサービス運営に携わり、リクルート社員を経て、ロケットスタートの代表取締役として独立されました。

自分の会社を作ることは、いつ頃から考えていたのですか？

古川 ロケットスタートは、リクルート在籍時に立ち上げた会社なんです。

Web制作の仕事をしている友だちが集まって、「会社にして、何かおもしろいインターネットサービスを作ったら楽しいんじゃない？」と。

けんすうさん自身も含めて、みんな会社員だったんですか？

古川 ネットで知り合った仲間で、会社員もいたし、IT企業の社長もいました。

2年くらいそのままやってたんですけど、やっぱり片手間なんで、本業がたいへんになると、こっちはやらなくなっちゃう。

なかなかサービスがリリースできなくて、このままじゃ一生やらないぞ、ちゃんとやろう、と思って、僕が会社をやめてこっちに専念することにしました。仲間が持っていた分の株を買って、組織変更したんです。

これで責任の所在が明らかになるから、やらないわけにいかなくなる。

ロケットスタートでは新サービス「ナナビ」^{*}をリリースされましたが、「ライフレシピの共有」というテーマを選んだのは、どうしてですか？

^{*}1 株式会社リクルート

大手情報サービス企業、数多くの情報誌の出版やネット上の情報サービス提供を行っている。2009年10月現在、従業員数は6839人。

^{*}2 ナナビ

<http://nanapi.jp/>

生活に役立つちょっとしたテクニク「ライフレシピ」の共有サイト。



古川 何かやるときに、マニュアルがあればうまくできることって、多いんですよ。

掃除の仕方とか、爪のお手入れの仕方とか。

やり方がわからないから行動できないということもあるので、そこをなんとかしたいな、と。

マニュアル世代なのでまずマニュアルを読みます

—— けんすうさんは、物心ついたときからインターネットがあった、いわゆるデジタルネイティブ[※]なんでしょうか。

古川 それは、もう少し若い人じゃないかな。

高校一年生くらいに僕がパソコンにさわり始めたときは、ちょうどインターネットが流行り始めた頃でした。

—— 高校のときから、ネットにハマっていたんですか。

古川 そうですね。でも、受験勉強もまじめにやりましたよ。

僕は、勉強も、スポーツも、音楽も、美術も、人よりできるものがひとつもなかったんです。だから、とりあえず学歴だけでもきちんとしていると、ちゃんとした人に見えるかなあと思って。

僕はかなり頭悪いほうだと思うんですが、試験に出るところを調べて、教え方がうまい人に教わって、わかりやすい参考書読んで、ポイントだけおさえれば、

※3ーデジタルネイティブ

米国のIT分野の調査会社、ガートナー社のPeter Sondergaardが名付けた。物心ついたころからITに親しんでいる世代をデジタルネイティブ、IT普及以前に生まれてITを身につけようとしている世代をデジタルイミグレイトとする。

たいした時間かけずに大学受験をクリアできちゃいます。

—— ほんとですか？

古川 受験でも仕事でもなんでも、そのためのマニュアルがあるじゃないですか。たとえば受験だったら、やみくもに勉強するんじゃなくて、まず受験勉強のやり方のマニュアルを読むんです。

そうすると、正しいやり方がわかるから、正しい計画が立てられる。

この計画が間違っていると、どんなに努力しても無駄になっちゃいますよね。でも、ちゃんとマニュアルどおり計画的にやれば、どんな人でもまあまあ、成功できるんですよ。

—— マニュアル世代なんですね。

古川 デートでもなんでも、マニュアルなしでいきなりやるのは、頭の回転が早い人のやり方。

僕はそうじゃないから、傾向と対策を調べてあらかじめ勉強して、なんとかこなせる。

たとえば、誰か人と会うときも、その人についての情報を調べて、その人が書いた本があつたら全部読んでいきます。

—— すごい。努力家ですよ。

古川 うーん、単に、そうしないとうまくできないから。

説明書を見ながらやるのと、見ないでがんばるのとでは、見ないほうが努力が

必要なんじゃないかな。

僕にはそれができないので、めんどうだけど、説明書を読むんです。

—— ブログを拝見すると、いまもビジネス書をたくさん読まれています。

古川 本は、学生時代も今も、たくさん読みます。

せっかく先人の知恵をマニュアルにして提供してくれてるわけだから、読んだほうが得だと思う。

逆に、勉強しないでなにかやるのは、頭がよくないとむずかしいじゃないですか。

—— じゃあ、会社を作るときも、マニュアルを参考に？

古川 会社の登記とかは、本を読んで、できるところは自分でやりました。

こうして会社を営営していますが、あまり才能がないので、本を読みながらいろいろ勉強しています。

大学浪人時代にコミュニティ運営にハマる

—— けんすうさんがネットの世界に飛び込んだのは、「ミルクカフェ」^{*4}という

大学受験掲示板からということですが。

古川 大学受験のとき、そもそも勉強ができませんいので、1年浪人したんです。

それで、次も浪人したらいやだなあと思っ、インターネットで受験について調べようとしたんですけど。

*4 ミルクカフェ

<http://www.milkcafe.net/>
2000年古川氏によって開設。個人で運営。2009年、株式会社サイブリッジに譲渡。



*5 12ちゃんねる

<http://www.2ch.net/>

1999年5月開設の巨大インターネット掲示板。2009年現在のユーザー数は、1170万人ネットレイティングス社調べ。「スレッドフロート式掲示板」と呼ばれるしくみで、カテゴリに別れた「掲示板」群の中にそれぞれ1つの話題（この「ス

その頃は、受験生向けの情報が、ネット上にあんまりなかったんですね。

^{*5} 2ちゃんねるはあったけど、受験勉強のやり方を教えるぜとか、そういう書き込みはなかった。

僕が知リたかったのは、いい参考書とか、いい講師、受験対策に直結する情報だったんです。

^{*6} 当時、JBBSというレンタル掲示板ができたばかりで、だったら自分で情報を集めようと思って、掲示板を設置したのが始まりです。

—— 受験生向けの掲示板は、それまではなかったんですか？

古川 あることはあったけど、いわゆる2ちゃんねる型の「スレッドフロート式」の掲示板はほかにありませんでした。

最初は予備校生向けの掲示板だったんですが、それから高校生向け、中学生向けと拡大して、どんどん大きくなりました。

どの参考書がいいとか、予備校のどの授業がいいとか、ここでの受験情報は僕自身、すごく役に立ったんですよ。

—— では、その口コミ情報にもとづいて、いっしょうけんめい勉強した？

古川 いや、結局受験そっちのけで、一生懸命ミルクカフェいじってました（笑）。

まあ、管理人が受からなかったらバカだと思われちゃうから、プレッシャーはありました。

—— でも早稲田の政経に合格したということは、優秀ですよな。

レッド」が集まって構成されている。運営は2009年1月に管理人西村博之から海外企業に譲渡された。



^{*6} JBBS

「レンタル掲示板JBBS」として、元2ちゃんねる管理人西村博之の経営する合資会社東京アクセスが開設。2ちゃんねるのようなスレッドフロート式掲示板を無料で設置できるサービス。ししたらJBBSと名前を変え、運営が株式会社メディアアクリップに移ったあと、2004年6月に株式会社ライブドアに譲渡され、現在は「ライ

古川 運がよかったんですね。僕、すごくタイミングがいいんです。

現役のときは競争率ももっと高かったけど、1年浪人したら、次の年は学生数が少ない。つまり、受験生の数が少ない！

ライバルが減って競争率が下がったから、早稲田の政経に入れた。

ちなみに就職のときも、たまたまその年リクルートの景気がよくて、採用者数が大幅にふえて、だから入れたんですね。

——じゃあ、浪人してラッキーでしたね。

古川 結果的には、そうですね。浪人時代に学んだことも、大きいですし。

でも、もちろん、現役で入れるなら、そのほうがいいですよ（笑）。

「社長、やらない？」って言われて「やるやる！」と

——早稲田大学在学中に、したらばJBBSを運営する株式会社メディアクリップの代表取締役社長に就任、このサービスをライブドアに1億円で売却して、話題になりました。

古川 ミルクカフェは僕が個人で一生懸命やっていたんですけど、したらばBBSに関しては、たいして何もしていませんですね。

たまたま、ひろゆきさんたちに頼まれて、社長を引き受けただけで。

——ひろゆきさんとは、どうやって知り合ったんですか？

古川 ^{*8} lch・tvという掲示板があつて、僕がそこで暴れてたら、発見された

ブドアしたらば掲示板」としてライブドアのサービスとなっている。

^{*7} ひろゆき

西村博之。元2ちゃんねる管理人。Chapter 10に登場。

^{*8} lch・tv

2001年10月開設の会員制インターネット掲示板。元株式会社アスキーの特別顧問の西和彦とバリュー・エクスチェンジ株式会社、株式会社Eストアーが運営。スレッド型掲示板の発明者で1997年開設の「あめぞう掲示板」の作者、あめぞうも参加。価値ある投稿をしたユーザーにお金が入る「バリューエクスチェンジシステム」を目指した。

感じます。

―― 暴れてたっていうのは、どんなことを？

古川 もともと2ちゃんねるは好きで、よく見てたんです。

西和彦さんがアスキーを退任するとき、2ちゃんねるに西さんのスレ^{*9}ができて、そこに本人が登場して、やがて1ch・tvを始めた。

僕は昔からコミュニティの運営が好きだから、これはおもしろいなど。

それで、1ch・tvの教育板の管理人をやっていて、そこに自分の電話番号とかも書き込んでたんですね。

―― 掲示板に電話番号を公開したんですか!? こわいじゃないですか。

古川 当時は、あまり気にしていなかったんですね。ひろゆきさんとかも電話番号を晒してて、おもしろそうだな、と。

それである日、1ch・tvの僕の書き込みを見たひろゆきさんが、おもしろそうなやつだから呼んでみようって、電話してきてくれたんです。

―― それまで、面識はなかったんですか？

古川 僕はもちろん、2ちゃんねるの管理人のひろゆきさんの存在は知ってはいいたけど、それまでなんの面識もなかったです。

ひろゆきさんの友だちから突然「今病院にいて、事故にあった人がおもしろい状態だから見にこない？」と誘われて、そこがはじめてのやり取りですね。

―― それで、見に行ったんですか。

*9 西和彦

1997年に、コンピュター書専門出版社、株式会社アスキー出版を創業。米国マイクロソフト社副社長も務めた。2001年に株式会社アスキー取締役を退任。米国マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員教授。
*10 スレスレッドフロート式掲示板のスレッドの略。

古川 ええ、まあ（笑）。僕の家から、場所も近かったし。

僕、フットワークは、軽いんです。

それからおつきあいが始まって、なにかのタイミングで、「けんすう、したらばBBSの社長、やらない？」って言われて。

おもしろそうだったからそこで「やる、やる」って手を上げたら、そういうことに。

「就職しないと俺らみたいになるよ」

—— 学生社長だったけんすうさんが、企業に就職しようと思ったのは、なぜですか？

古川 社長になつてはいましたが、自分で会社をやつて稼げるほどの能力はなかったんです。ミルクカフェもしたらばも、運営は楽しかったんですが、お金は全然もうかつていなかったんです。

あるとき、ひろゆきさんに、「けんすう、大学卒業したらどうするの？」って聞かれて、「いやあ、このまま適当にやろうかな」と答えたら、「ちゃんと就職しないと、俺らみたいになっちゃうよ」って、言われたんですよ。

これはたいへんだ！ と思つて。

—— 「ひろゆきさんみたいになる」ことが？

古川 いや、だって、あんなふうには僕はなれないなあ、と思つたんですよ。

ああいう生き方はできない。それで、ここはまじめに就職活動をしよう、と。

面接で「いくらで売る？」と聞かれて1億円売却

—— ライブドアで働いたのは、誰かの紹介なんですか？

古川 いや、ふつうに、大学三年のときに、新卒の募集に応募したんです。

—— あ、ミルカカフェのけんすうだ、って、気づかれませんでしたか？

古川 最初は普通に面接を受けていたら、M & A 担当の人が来たんです。

僕がミルカカフェ管理人のメールアドレスで応募していたので、きつとサイトの管理者だろうと。

そこで、したらばっていうのもやっていると話したら、じゃあそれ売ってよ、ということになりました。

—— 就職試験の面接で、いきなり買収話に。

古川 突然で、全然わからなかったんです。最初5000万円で、と言われたと思うんですが、よくわからないのでいったん帰って、あとから大人の人を連れて行って交渉してもらって、1億円で即決、みたいな感じだったと思います。

—— そんなにかんたんに！

古川 たぶん、そのときはライブドアもお金があったし、とにかくアクセス数をふやしたい時期だったんですよ。アクセスをたくさん稼くサービスを、積極的に買収してましたから。

*11 株式会社ライブドア

1996年4月堀江貴文らが創業し、2000年に東証マザーズに上場したオン・ザ・エッジが、2002年11月、経営破綻した旧ライブドアから営業権を取得、2004年に株式会社ライブドアに商号を変更。2006年1月に証券取引法違反容疑で堀江らが逮捕、辞任。同年4月に株式上場廃止。2007年4月株式会社ライブドアホールディングス（現株式会社LDH）と商号変更。100%子会社株式会社ライブドアを新規設立。ブログポータルをはじめ、多くのインターネットサービスを提供している。

—— 1億円で売ったのに、そのあとバイトしなきゃいけなかったんですか？

古川 僕個人には、あまりお金は入っていないんです。半年くらい、学生アルバイトとして働きました。

リクルートは「すごく、ラクでした」

—— ライブドアには、就職しなかったんですね。

古川 うーん、僕、ちょっとライブドアには合わなかったんですよ。

すごく優秀な人が集まっていて、刺激的だったんですけど。

なんというか、「俺が俺が！」ってアピールできて、わりとぐいぐいと、人のうらみを買ってでもやりとげる人が評価される文化だったんです。

…こわいじゃないですか。

—— リクルートは違ったんですか？

古川 違いましたね。

リクルートもすごくおもしろい人が集まってるけど、お人好し文化というか、手取り足取り、ていねいにかまってくれますよ。手厚くフォローしてくれる。できない人にも優しい。

副業してもよかったですし、働き方もゆるやかで、まったりしてる。楽しかったです。

—— ずっと副業としてロケットスタートを続けることもできましたよね？

古川 そうなんですけど……このままここにいて、自分がダメになると思ってますね？

古川 そもそも会社員って、めちゃくちゃサボっても給料入るじゃないですか。

1 か月ろくに成果ださない月があっても、その月の給料がまるつともらえる。大きな会社なので、こんなサービスをやりたい！ と思っても、企画を通して、実際動かすまでに半年くらいかかる。その間って、何もしていないんですよ。楽だけど、これでいいのになって。

—— 何もしてないわけじゃないと思いますが……それで、3年働いたあと、独立するんですね。

古川 入社するときに、どんなことがあっても、3年はきちんと勤めようと思ってたんです。大学卒業後、大企業に3年勤めたっていうと、経歴上すごく、まともな人っぽい（笑）。

それがひとつの区切りだと思って、入社して3年たって、ちょうど僕が関わってたプロジェクトが終わったので、このタイミングだなと。

—— リクルートでもネットサービスを作っていましたよね。いまの会社でサービスを作るのと、どう違いますか？

古川 スピードですね。自分の会社なら、やりたかったら、すぐやれるから。「すぐとりかかる」っていうつもりで、会社名も「ロケットスタート」ってつけたんです。